

栃木市市民会議 全体会 会議要旨

日 時： 令和7年9月24日（水） 午後7時～8時52分
会 場： 栃木市役所 正庁
出席者数： 委員30名、事務局10名

1 開会

2 あいさつ

会長： 栃木市市民会議全体会は5月に次いでこの9月で2回目の開催になるが、足元暗いなかお集まりいただき感謝する。総合計画部会では、令和6年度に栃木市が総合計画に基づいて実施した事業と総合計画の実現を下支えする行財政改革大綱の実施状況について、7グループに分かれて評価を行った。基本施策として22、単位施策として67の項目について1つずつ外部評価をしてとりまとめたものを、本日報告いただく。市民は行政がどういう事業を実施しているのか、普段はあまり接することができないので、貴重な外部評価の検討結果だと思う。

今日は、みなさんからご報告いただき、その後、全体としてこれでよいかどうか検討をしていきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

3 議事

1) 議題1（総合計画部会外部評価について）

部会長より総括

部会長： 1～2か月前に基本方針に沿って6つの部会と行財政のグループに分かれて外部評価を作成いただいた。改めてできあがった外部評価を見ると、基本施策と単位施策について、市民の方々の指摘が細かく具体的に記載されており、全国的に見てもあまりない取り組みだと思う。行財政についても、メンバーが自ら15項目を選定し、総論と各論についてしっかり書いていただいた。

今日は各基本方針の6つのグループと行財政のグループの評価を皆さんと共有することを楽しみにしてきた。よろしくお願ひしたい。

グループごとに各委員より、作業結果を報告

感想等

会長： 全体を通して、少子高齢化が進む中で行政だけでできることはほとんどなくなってきており、市民の方々の協力の下進めていかざるをえないが、市民側では、高齢化が進み若い人が減っており、人材不足のため、活動が思うよう

に進まなくなってきた。このような中で、今後、どうすれば栃木市を住みよくしていくのかという危機感が生まれてきていると感じた。この危機感は、決してマイナス評価という意味ではなく、市民の危機感が、行政のネジを巻き直す効果につながると思うので、危機感をもつことは非常に重要なことだと思う。

また、発表において、栃木市は合併を行ったことから多様性に富んでいることで、行政が入ると施策として判断が難しい部分があるという市民側からの指摘があった。危機感等のキーワードをみても、時代が進む中で、従来のやり方を踏襲するだけでは立ち行かなくなってきたので、肝に銘じて取り組んでいただきたいという叱咤激励するコメントもいただいた。

委 員： 少子高齢化の中で人を増やしていくという意見もあったが、個人的な感想としては、自らが参画したいという意識をもった人が増えることが大事だと思う。また、若い人からの提案も大事だが、高齢者の意見も捨てたものではないので、協力していく環境を一緒に作ることが重要だと思う。

また、窓口などの生成 AI の活用について、AI は必要だが、参考に使えばよく、そのまま AI の判断をうのみにするのは早いと思う。受け取る人が自分の頭で考えて使うことが重要だと思う。

例えば、子どもがスマホを使い検索して答えを出す授業もあるが、授業でスマホを使うのではなく、スマホを使わずに親に質問したり、自分たちだけで考えることが面白いと思う。

委 員： 単位施策 2101「自然環境の保全と活用」の中で、河川清掃の活動について、自治会加入率の低下という現状は大丈夫なのかという話があったが、私の地元の自治会では、河川保護活動のために、自治会で公的機関に申請をして補助金をいただいている。近くに大きな川があるが、年に数回自治会が企画し、環境保全会という別組織をつくり、公的機関と直接つながって、財源を得て、保全活動をしている。

また、里山の保全活動に対する整備事業についても、私達の自治会では補助金をいただいている、元は鬱蒼とした山だったが、今は地域の人がきれいにしている。私たちの自治会は 200 軒に満たない家しかない地区だが、アンテナを張って、公的機関からお金をもらい、自主的に保全をしているという事例もあるので紹介した。

副会長： 皆さんの発表を聞き温かい気持ちになった。栃木市が好きなのだということが伝わってきたからだ。委員のみなさんと今日の会議に参加し、同じ時間を共有できて嬉しく思う。私はもともと栃木市が好きだったが、ますます大好きになった。私は県外に住んでいるが、皆さんのが栃木市のこと考えてくれていると感じた。様々なキーワードがでてきて、例えば、アンコンシャスバ

イアス「無意識の偏見」という言葉がでてきたので、自分で何かできることがあるかを考えてみた。私の中にあるアンコンシャスバイアスは、男はこうあるべき、女はこうあるべき、という意識で、我が家は共働きだが、今朝は時間がなくて掃除機がかけられなかつたが、明日は早起きして掃除機をかけようと思った。そう考えたのも、今日の会議に参加したからだと思う。自分にできることから始める取り組みが、やがて大きな実となって栃木市をよりよくしていくと思った。

男女平等の発表で、あきらめるべきではないという意見・気づきがあったが、このままでいいとあきらめるのではなく、自分に何かできることがあると考えることが大切である。全体会の開催自体がすばらしい取り組みなので、他の市民に知ってもらうべきと思う。もっとマスコミを活用して栃木市のことを見てもいいと思う。この会議に参加させていただき、お礼申し上げる。

4 その他

事務局より連絡

次の市民会議全体会については令和8年5月に開催予定となっている。

また期日が近くなつたら通知する。

自治基本条例部会については10月1日に開催を予定している。

よろしくお願いしたい。